

## 令和 7 年雲南市議会 6 月定例会

## 市長施政方針（概要）

令和 7 年雲南市議会 6 月定例会の開会にあたり、市政における私の基本的な考え方を申し上げます。

はじめに、去る 4 月 29 日に発令された春の叙勲及び危険業務従事者叙勲についてであります。

春の叙勲において、吉田町の立石幸様が林業振興功勞により旭日双光章の榮に、吉田町の渡部世津夫様が消防功勞により瑞宝単光章の榮に浴されました。

また、危険業務従事者叙勲では、加茂町の佐藤均様が消防功勞により瑞宝双光章の榮に、木次町の細木辰幸様が防衛功勞により瑞宝単光章の榮に浴されました。

皆様の長年のご活躍とそれぞれの分野でご尽力されたご功績に深く敬意を表し、受章のお慶びを申し上げますとともに、今後とも、健康にご留意されご活躍されることを心より祈念いたします。

次に、第 3 次雲南市総合計画に掲げる「えすこに暮らす」、「えすこに育む」、「えすこに創る」の 3 つの柱に沿って申し上げます。

## 1. 「えすこに暮らす」に関わる政策

### （1）市政懇談会について

第 3 次雲南市総合計画の将来像に掲げる「えすこな雲南市」を見据え、懇談会のテーマを「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて」とした上で、広く市政全般についてもご意見をお伺いします。また、少人数での意見交換会、「変わらず変える！ 市長と“えすこトーク”」の開催、広く市民の皆様からご提案等をいただく「市政への提案箱」も、引き続き取り組みます。

### （2）JR 木次線の利用促進に向けた取り組みについて

去る 5 月 19 日に木次線利活用推進協議会総会を開催し、今年度の事業について承認を得ました。木次線を利用した旅行への半額助成事業については、二次交通に係る助成額を増額します。観光列車「あめつち」については、大変好評を得ている地元ガイドによる列車内での観光案内や特産品販売、駅舎でのおもてなしを継続するとともに、観光ツアー造成など周遊観光策についても、沿線自治体、観光事業者等と連携し、積極的に取り組みます。加えて、本市としても、通学で木次線の定期券を購入した場合に、併せて利用する市民バスの定期券は無料とする取り扱いを、今年度より高校生以外の通勤利用にも拡大し実施しています。本年 4 月の 1 か月の実績として、昨年度の 57 人を大きく上回る 124 人の方にご利用いただいております。木次線の平均通過人員数にも大きく影響するものと考えます。JR 木次線応援団の募集や木次線を応援いただく団体との連携など、様々なツールを活用し、魅力を広く発信することで、利用促進を図ります。

### **（３）空き家対策について**

地域活性化センター助成事業を活用し、公益財団法人うんなんコミュニティ財団が実施主体となって、三新塔及び八日市地域をモデルに、空き家を活用していく取り組みを始めます。この取り組みは、移住者や二地域居住者などに向けて住まいの提供を進めるため、空き家に関する関係者で、相談や活用方法を検討する「プラットフォーム」を立ち上げ、地域ビジョンの作成や空き家の寄附の仕組みを構築していくものです。また、勉強会を通じて市内の他地域にも共有していく予定であり、市としても空き家相談や地域ビジョンの作成、移住希望者と地域とのつながりなど、より一層の空き家の活用を促進します。

### **（４）防災・減災に向けた取り組みについて**

令和３年７月豪雨災害の教訓から、発災時の対応力を高めていくため、職員防災研修、地域自主組織との避難所運営研修、災害対策本部運営訓練を実施します。また、災害用備品として、交流センター等の指定避難所３１施設に自動ラップ式トイレとトイレ用簡易テント等を配備する計画としています。万一の災害に備え、今後も市報やケーブルテレビなどを通じて、防災意識の向上に努めます。

### **（５）大仁農道の崩落対応について**

昨年１２月１５日に発生した大東町大仁農道の法面崩落区間については、現地調査を進めながら復旧工法や法面の安全確認などを国・県と協議を進めてきました。完全復旧に向けた全ての対策を行うには、一定の期間が必要となることから、地域の皆様の利便性確保のため、片側通行により開放するための暫定工事を行うこととし、関係予算を今議会に提出しています。なお、国・県に対し大仁農道全線に渡り施設に必要な点検や対策が進むよう、予算の確保や支援の要望を行っており、関係機関と協議を進めながら道路施設の安全確保に努めたいと考えておりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

### **（６）民生委員、児童委員及び主任児童委員の改選について**

民生委員、児童委員及び主任児童委員の任期が、本年１１月３０日をもって満了します。これに伴い、各地区において推薦準備会を立ち上げ、委員を推薦していただき、雲南市民生委員推薦会で推薦決定することとしています。民生委員、児童委員及び主任児童委員は、地域で市民の福祉を支える極めて大切な役割を担っていただいております、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## **２．「えすこに育む」に関わる政策**

### **（１）スポーツ振興について**

本年１１月に聴覚障がい者の国際大会「第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５」が開催されます。この大会の走り幅跳び競技の日本代表選手に三刀屋町出身の須山勇希さんが選出されました。大会出場の榮譽に輝かれたことを心よりお祝い申し上げますとともに、そのご活躍を市民とともに応援したいと考えております。

## **（２）令和７年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技の開催について**

令和７年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技は、本年７月２７日から３０日にかけて、三刀屋文化体育館アスパルにおいて開催されます。これに向け、４月２８日には雲南市実行委員会の総会を開催しました。市内の高校関係者、地域の皆様、商工関係者の皆様との連携を強化し、本市を訪れられる皆様に「また雲南市に来たい」と思っただけよう、準備を進めているところです。

全国各地の団体４８チームのほか、個人男子３８４名、女子１２６名が、各々の階級で全国１位の栄誉をかけて競技に臨まれます。選手の皆様が最高のパフォーマンスを発揮できるよう準備を行って参ります。熱戦を繰り広げる選手たちへの熱い声援をお願いいたします。この大会を一過性のイベントで終わらせることなく、その経験を市のスポーツ振興施策に生かし、島根かみあり国スポ・全スポ２０３０に向けた準備を加速させる契機とし、より一層のスポーツ振興を図って参ります。

## **（３）不登校などの児童生徒支援の取り組みについて**

不登校や不登校傾向にある児童生徒が増えている中、市として支援の更なる充実を図るため校内教育支援センター開設の準備を進めておりましたが、この度、必要となる人員の確保など体制が整いましたので、６月２日より正式に運営を開始いたしました。

今後は、学校、保護者及びおんせんキャンパスなどの関係機関と密接に連携しながら不登校や不登校傾向の児童生徒に効果的な支援を実施して参ります。

## **（４）雲南市中学校部活動の地域展開に関するガイドラインについて**

少子化が進み中学校部活動の維持、継続が困難となる中、こどもたちの選択肢を広げ、自身のやりたいことができる環境をつくっていく観点から、令和４年度より国の実証事業を活用し、中学校部活動の地域展開を進めてきました。これまでも、指導者バンクを設立したり、全ての運動部活動と吹奏楽部で、休日部活動を合同で実施したりするなど、様々な取り組みを進めています。これまでの活動を踏まえ、令和７年３月末に「中学校部活動の地域展開に関するガイドライン」を策定しました。今後はガイドラインをもとに準備が整った活動から在籍する学校にないものも選択できる環境をめざし、誰でも参加しやすい環境づくり、新たな地域クラブの育成、指導者の確保・資質向上等に取り組めます。

## **（５）ふるさとミライカレッジについて**

総務省のモデル事業、「大学等と地域が連携して取り組む地域課題プロジェクト（いわゆる「ふるさとミライカレッジ）」について、全国９４件の応募の中から採択されましたので、本事業にかかる補正予算を今議会に提出しています。本市は、これまで「雲南コミュニティキャンパス事業」として、地域課題に関心をもつ大学生に対しフィールドワークやインターンシッププログラムを提供し、全国各地の１２８大学から延べ６９５人の大学生を受け入れています。この度の採択を受け、この取り組みをさらに発展させ、島根大学や早稲田大学、米子高専などの大学のゼミ単位で受け入れる新たなプログラムを構築し、より多くの大学生が本市のまちづくりに継続的に関わる仕組みづくりに取り組めます。

### **（６）第３次雲南市男女共同参画計画「気づいて築くうんなんプラン」について**

このたび、今年度から１０年間を計画期間とする「第３次雲南市男女共同参画計画～気づいて築くうんなんプラン～」を策定しました。本市がめざす男女共同参画社会を「えすこな雲南市、互いに認め合い自分らしく暮らせるまち」とし、その実現に向けてジェンダーギャップ解消を重要な課題と位置づけ、市民の皆様、事業所の皆様とともに、本計画の推進に取り組めます。

## **３．「えすこに創る」に関わる政策**

### **（１）防災道の駅の選定について**

去る５月１４日に、道の駅掛合の里が国土交通省により防災道の駅として選定されました。防災道の駅は広域防災拠点となる道の駅のことで、全国では７９か所、県内では道の駅掛合の里が唯一の選定であります。今後、国との調整を図りながら、防災機能の充実を含めた整備について検討を進めます。

### **（２）道の駅さくらの里きすき活性化整備事業について**

道の駅さくらの里きすきについては、去る３月２８日に公園造成工事を発注し、工事を進めているところですが、今議会に建築工事等にかかる経費を補正予算として提出しています。速やかな事業進捗を図り、年度内の完成をめざします。

### **（３）観光振興の取り組みについて**

今シーズンの桜まつりは、昨年より１か月遅れで開花した河津桜で始まりました。３月下旬に開花したソメイヨシノも、雲南食堂などメインイベントを開催した４月５日、６日には満開を迎え、４月中旬に開花した御衣黄の見納めまでの期間中、約９万２千人の方にお越しいただき、多くの方で賑わいました。４月６日には、願い橋の復旧も概成する中で、斐伊川河川敷公園“さくらねがい広場”の完成記念式典も開催されたところです。

また、４月２４日には、市と雲南市観光協会が一層連携した観光振興を図るための拠点として、コトリエット内に“うんなん観光案内所”を新たに開設したところです。観光による経済活動の推進と交流人口の拡大をめざして取り組みを進めます。

### **（４）脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて**

再生可能エネルギーの推進については、地域電力会社「株式会社うんなん共創エネルギー」が４月１日に市内で設立され、８日には同社と連携協定を締結したところです。今後、当事業所が主体となり、太陽光発電を中心とした発電事業として、公共施設に太陽光パネルや蓄電池を設置するとともに、売電事業として、当該施設への電力供給の他に余剰分の電力販売を行っていく予定です。今後、発電方法の多様化を含め、事業所・一般家庭への拡大を図り、このエネルギー事業を通じて、地域課題の解決や地域の活性化にもつなげて参ります。

省エネルギーの推進については、経済産業省から事業費全額を補助いただき、加茂健康福祉センター「かもてらす」の熱源設備を、老朽化したＲＤＦボイラーから電気式ヒートポンプ設備に転換を図ります。今後、既存温浴施設を中心に熱源転換に向けた調査を行う

とともに、脱炭素社会について普及啓発する人材育成等にも取り組みます。また、公共施設の照明のＬＥＤ化を進めていくため、リース方式の先行モデルとして１９の公共施設を選定し、ＬＥＤ化することにしました。今後、全ての公共施設のＬＥＤ化に順次取り組みます。

ごみの減量化については、キエーロコンポストの普及に加え、廃食油の回収にも取り組んでいます。廃食油を市内で高純度バイオディーゼル燃料に再生できる環境を整えるため、公募によりカナツ技建工業株式会社を製造事業者を選定したところです。今後、事業者において製造装置の導入等を進められ、本年度中に事業を開始される予定です。引き続き廃食油回収の拡大に向けた工夫を行いますが、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

#### **（５）次期一般廃棄物処理施設の整備に向けた取り組みについて**

奥出雲町、飯南町の３市町で進めている次期一般廃棄物処理施設の整備については、これまでの間、建設候補地の選定に向け、施設整備検討会議に加え、用地選定委員会を開催し、慎重に検討を深めてきました。結果として、現時点で数か所まで有力候補地の絞り込みを進めたところです。一方で、世界規模での経済の混迷を背景に賃金・資材の高騰が進んでいる現状であり、建設費用についても、概算ではありますが、基本構想策定時に１２０億円程度としていたものが、１８０億円以上にまで膨れ上がり、財政に及ぼす影響が大きなものとなることを懸念しています。

このような状況の中、２０年、３０年先の本市及び雲南圏域の持続可能な未来を見据えた際に、現在の計画に従って施設整備を進めるべきかどうか、一度立ち止まって考える必要があると判断したところです。去る４月２５日にも両町長とも協議し、計画を再検討することを確認しています。今後は、従来通りの施設整備ありきの考えのみに捉われず、様々な方法を柔軟な思考で今一度模索していくこととします。次期一般廃棄物処理に向けた環境整備は、雲南圏域にとって喫緊の課題であるとの認識のもと、最適な仕組みを一刻も早く整えていく考えであります。

#### **（６）特別天然記念物コウノトリについて**

毎年、営巣している大東町の西小学校の人工巣塔では、３羽のヒナがふ化いたしました。これで、本市でのコウノトリのふ化は９年連続となりました。また、昨年からコウノトリが営巣した大東地域交流センターの人工巣塔に加え、今年は加茂町神原の人工巣塔でも初めて営巣し、市内の営巣場所も３か所に拡大したところです。

生息数も増加したことで、今後コウノトリの繁殖地として安定したと評価できるのではないかと感じている一方で、更なる営巣数の増加に対してどう対応していくのかといったことの検討を進めなければならないものと考えています。

### **４．行政経営**

#### **（１）令和７年度６月補正予算について**

４月１日付け人事異動に伴う職員人件費の調整等を行うほか、一般会計に係る主なものは次のとおりです。

○道の駅さくらの里きすき活性化整備事業１億７千７百万円余

- 加茂健康福祉センター施設整備事業 1 億 5 千 9 百万円余
- 公園施設整備事業 7 千 8 百万円
- 大仁農道にかかる団体営農道整備事業 3 千万円

6 月議会定例会に議案として、承認事項 7 件、条例 2 件、一般事件 5 件、報告事項 9 件を提出しております。